

令和4年7月7日 議会改革特別委員会 議事録
13時00分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、原田 孝徳、小中真樹雄、小田上尚典、北地 範久、
日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 なし

○傍聴者 細川 雅子、寺岡 公章、末広 天佑

○網谷委員長 皆さん、午前中はお疲れさまでした。

それでは、定足数に達していますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。
日程から入らせていただきます。

日程第1、前委員会(6月23日)の協議内容「議会定数の在り方」と「その他」について、
まとめについての承認ということでよろしくをお願いします。

サイドブックス6月23日の日付のほうに上げているかと思います。お分かりですかね。
読んでみます。

それでは、委員会の6月23日前委員会のまとめといたしまして、議員定数の在り方と
その他の検証・深掘りについては、委員会で特化されての協議事項であり、活発な意見が出
されましたが、アンケート結果の削減3、現状維持が6、その他7の結果以上の具体的な
意見は出ませんでした。その他にも、議会基本条例に基づく委員としての再認識の確認
など、前進的な意見も出され、前向きに取り組んでいけたらと思います。なお、議員定数
の在り方についての議論は、これからの最終結論に向けて、委員会でしっかり議論をし、
皆様方の悔いのない結論になればと思います。

以上です。この文章について修正なり、意見があればお伺いいたします。

よろしいですかね。

この議員定数の在り方についてはこれから最終結論までしっかりと議論するテーマであ
ろうかと思いますので。

小田上委員。

○小田上委員 23日の協議の内容ということで、発言させていただいた基本条例のことにも
触れていただいていますし、前向きな取組ということでこの内容でいいのかなと思います。
以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

ほかになれば、これでよろしいかと思いますが。お願いします。

ということで、ありがとうございました。

それから、今回の委員会ごとのまとめですよね、今回で3回目なんです。まとめに対

しては委員の皆さんのお一人お一人、結構受け止め方がかなり違ってくるのではないかと思います。同時に、このまとめという文章、どこかに公表するということでもありません。このアンケートについてのまとめといたしましては、検証・深掘りについての議論もやってきましたが、完全なものとは言い切れませんが、これからは最終結論に向けて一貫した議論になろうかと思います。まとめとしての作業は一旦終了と思いますので、よろしいでしょうか。

それでは、そういうことでよろしくお願いします。

それでは、日程第1は終了とさせていただいてよろしいですかね。

日程第2、アンケート調査実施に向けての是非についてでございます。まずは、実行するかしないか、皆さんの意見をお伺いしたいのですが。

藤川委員。

○藤川委員 実行するべきだと考えております。第1回目のアンケートから、数か月たちました。気持ちも変わった人もおられれば、継続の方もおられると思います。そろそろ着地点に向けて第2のステップを踏んだほうがいいのかなと、そう考えます。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今、藤川委員のほうから、前回1回目から半年以上たっておりますので最終結論に向けて実施したらよいということで意見が出ましたが、よろしいでしょうか。

それでは、実施するということで実行します。

実行するということになりますと、方法に向けての協議をしていきたいと思います。まず第一にアンケートをするとすれば、委員会の中でやるのか議員16名全議員でやるのか、前回は16名でお願いしたんですがね。

小中委員。

○小中委員 意見が変わっているというのもあるでしょうから、前回と同じく16人でいいと思います。

○網谷委員長 ありがとうございました。

今、小中委員から16名という意見が出ましたが、それでよろしいですかね。

はい、小田上委員。

○小田上委員 16名というところに異論はないんですけど、最終的に委員会として決定をしていくときに、委員のメンバーが決定をしていくということになろうと思います。なので、委員メンバーが判断を下すための資料であるということが必要だと思うので、16人のアンケートを取った後に、いろんな手法があると思うんですけど、例えば残りの半分の議員から意見を聞くとか。アンケートを記入されて、このアンケートの真意はという話が今まで出てたので、そういう機会を委員会として設けることができれば、全員から取る意味があるのかなと思います。

以上です。

○網谷委員長 ということは前回、全協でやったような方法でよろしいということなんですか。

小田上委員。

○小田上委員 前は全協っていう形だったと思うんですけど、できれば委員会主導で、どういうやり方があるのか、詳しくは分かりませんが、参考人みたいな形だったり、委員外発言として認めて来てもらうっていう方法で。開催の方法は議会改革特別委員会という形でやったほうが、議事録の関係も含めて整理が付きやすいのかなと思ってます。

以上です。

○網谷委員長 前回は、議会改革特別委員会での開催でありまして、一応手法としては、休憩という形を取りましたよね。その方法とまた違う方法で検討することもあり得るということですね。そうなると何か、いい案でもありましたら。

小田上委員。

○小田上委員 委員外発言を認める場合は、発言の通告書を出さないといけないのかなと思うので、通告書をほかの委員外の議員に出してもらうのか、参考人というのか、どういう招致の仕方があるのかは分かりませんが、改革の中で議事録に残る形、委員外の方の発言っていうのを取り入れられたらいいかなと。最終的に決めていくのはこの中の委員だという流れができればいいのかなと思います。なので、休憩中に全協でとかいう方法ではなくて、改革の中で議論していく、議事録を残すっていう作業ができればいいかなと思います。

以上です。

○網谷委員長 その辺のところは、議長を含めて正副委員長で結論を出してもよろしいですかね。

北地委員。

○北地委員 できれば、アンケートを取る際に意見欄というのをつけていただいて、そこに意見を書いていただくという形にしたなら、分かりやすいのではないかなと思うんですけども、そういう案はいかがでしょうか。

アンケートの内容をまだ見えてないんで、どういう形にするのか。とりあえずは意見欄というのをしっかりと入れてもらいたい。

○網谷委員長 分かりました。

それはこれからのアンケートの中身を見んと分からんということで。

次に、前回は無記名でしたが、今回は。

小中委員。

○小中委員 前回は無記名でしたが、こういう大事なことで自分がどういう意見を発するか、うちゅうことは責任持ってやっていただくためには、記名が必須だと思います。それが市民に公開されたら、そやからこいつはもうあかんとか、判断材料にもなりますし、正々堂々と意見があるんやったら記名でやるべきだと。個人的に私は絶対譲れない条件だと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今、小中議員が、記名と発言されたんですが、どうでしょう、皆さん。

原田委員。

○原田委員 私も記名にするべきだと思います。それともう1つ、2つあるんですけど。

まずこのアンケートは前回は無記名でなかつ、傍聴の方もいらっしやらなかったのか

も分からないですけど、非公開だったような気もするんですね。完全公開だったじゃなかった気がするんですけど。私の意見として、記名は当然として、それを公開しないと仮にこの後、議員定数の問題が、例えば熱を帯びてきたとします。傍聴者がたくさん来たとします。傍聴者の方が来られても、アンケートの資料がないことにはなんの議論をしているのかさっぱり分からないので、記名は小中委員と全く一緒の意見なんですけど、併せてこれを公開するのか、傍聴に来た方に見せてもいいものにするかを決めておくべきだと思います。

それで関連するんですけど、今日も下の電光掲示板のほうに13時から議会改革特別委員会という表示がなかったの。恐らくホームページ上にもないんじゃないかなと思われるんですけど。私、確認してないんで分からないですが。議会報告会でも取り上げた大きなテーマですし、このことに興味のある方たくさんいらっしゃると思います。そういう方が見に来られようとしても、いつ行われるのか、分かっていらっしゃるかなと思いますので、アンケートとは離れますけれども、今後はいつ、改革をするんだということは何かの形で市民に知らせるべきではないかなと思います。アンケートのほうは記名で公開ということを私は主張いたします。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

記名無記名の問題につきましては、記名の方がお二人方発言されたんですが、ほかの方もそれでよろしければ。

日域委員。

○日域委員 私も記名すべきだと思います。それと初回のアンケートは、無投票と関係があるかないとか、なかなか答えるの難しいような設問もあったんですけども、アンケートって設問の作り方次第でかなり変わりますからそこはちゃんとやってほしいという気がします。公開、名前も一緒に、それは私も同感です。

以上です。

○網谷委員長 記名という意見も多いのですが、ほかの委員の方よろしいですか。

それでは、記名ということに決めさせていただきます。

公開の場合はほかの委員会の場合はどうなってるのですかね。ホームページには載せるようになってるのかね。

議事録は全部載りますよね。これは保護条例の関係にするのか分かりませんが、情報公開にもし申込みがあればもちろん公開はできるということなんですかね。

できるということ。

小田上委員。

○小田上委員 ほかの常任だったりとかであんまり資料が出ているってことが少ないので、どう表示するのかっていうのは難しいかなとは思いますが、公開っていう点に関しては、どういう議論がされているのか、どういう議員がどの立場にいるのかっていう点については、ただくためには必要だと思います。議事録の中に入れ込むと、わけ分からなくなると思うんですね。なので、ページ階層1つ作ってあげて議会改革特別委員会の資料という形で、

委員会のところに作ってあげるほうが、議事録から見てくれっていうよりも、易しいのかなと思います。なので開催の通知とかっていうのを載せたりするところがあったような、なかったような、分からないですけども。議会改革でこの件についてっていうページを1つ作ってあげればいいのかと思います。議事録だと読みにくいと思います。

○網谷委員長 その辺のところは、今日は局長が休みなんでね、後日我々、議長3人で相談しまして載せるものなら載せるような方向で持っていきたいと思います。

よろしいでしょうか。ということで、本日は結論を出していきたいと思います。

今回のアンケートは記名ということでさせていただきます。

それから、今回の設問の内容ですがね、これは私が一存というんですか、たたき台というんですか。案がないと協議できませんので作ってみたんですが、これを出させてもらってよろしいでしょうか。

今から、サイドボックスのほうに載せますので。

暫時休憩させていただきます。

10分ほど休憩します。

13時21分 休憩

13時27分 再開

○網谷委員長 それでは、休憩前に引き続き、会議を行います。

皆さん、見られますかね。

今回のアンケートの設問内容と申しますと、最終結論までにはあまり時間もありませんので、とにかく議員の皆さんの意思表示ですか、それが即分かるような形にすればと思います。議会報告会と同じようなスタイルに考えたんですが。

小中委員。

○小中委員 この4つで結構だと思いますよ。

理由を書けっていうんやから。記名さえすればいいんじゃないか。

結論を言えという段階に来ているんで、自分としてどういう判断を示すかっていうのを責任持って記名の下にアンケートをすべきやと私は思います。

○網谷委員長 ということは、小中委員は今のところ修正をするところはないということ。

○小中委員 修正っていうか、文言がどうかっていうよりも、要するにこの4つのエッセンスしかないんで。もう単刀直入にそれをどうなのかっていうのを聞けばそれでおしまい、文言がどうかっていうのは、ええか悪いかっていうことよりも、もうこのスタイルでやるべきだと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今そういう意見も出ましたが、この文言を今設問を4つになつとるんですよ。議会報告会と同じですがね。これで皆さんにお聞きしたいのが、4番目のどちらともいえないがありますよね。こちらが必要かどうかという。これは市民のアンケートじゃない、議員の皆さんのアンケートなんで。

小中委員。

○小中委員 削除していいんじゃないですか。増やすべき、現状維持、減らすべきの3択の

中から1つ選んで理由を書いてもらえばいいんじゃないですか。この期に及んでどちらともいえないというのは、何を考えてるんやということになりますからね。

○網谷委員長 そのような意見が出ましたが。

はい、小田上委員。

○小田上委員 言おうと思ってたことを全部言われてしまったと。

どちらともいえないはないほうがいいと思います。

ただ、今まで議論してきた部分で、冒頭、藤川委員が言われた、意見が変わったところとか、ここが解消されなかったとかっていう点。傍聴されている議員も含めてあるんじゃないかなと思います。なので議論を通しての考察の部分と、先ほど北地委員の言われた、自由記入というか定数全体についての記入欄というのを設けてもらえたら。もちろん定数どうするかっていうところも重要なんですけれど、その話をするのにこの定数がこう出ているから、多いからこうなんだと短絡的にいきにくくなるかなと思うので、自由記入欄というのを追加してもらったほうが、委員外の方はそのほうがいいのかなと思いました。

○網谷委員長 はい、分かりました。

この4項目を今3択でよろしいのではないかという意見が。皆さん、よろしいですかね。ありますか、どうぞ。

○日域議員 これ出さないっていう手がありますよね。

これ出さなかったら、おまえら議員、首だっていう。ルールはないでしょう。

○網谷委員長 それはないです。

○日域議員 出さないっていうのがある以上ね、4番があってもなくても。どちらともいえないって表現は変ですけどもね。私らこんなもん出さんっていう人はいるかもしれませんよ。

○網谷委員長 ということは、4番目は置いとったほうがええということ。

○日域議員 置いとったというか、棄権する人はいる可能性はありますよね。

要は、16枚配って、返ってきたのは14枚で。2人は出してませんというのはあってもいいわけですよ。そういう意味で、4番なくてもいいですよ。

○網谷委員長 なくても。

○日域委員 全部返ってこなければ返ってこないでいいんであればですよ。

現状、上か下かしかないんですから。

○網谷委員長 分かりました。返ってこなかったということは、一種の棄権というふうにいわれても仕方ないということですよ。

ということは3択でよろしいということですか。

3択という意見が多いようなので、4番目は削除ということでよろしいでしょうか。

北地委員。

○北地委員 いいんですけどもね。今言われた棄権ですよ、我々としてはその棄権の理由も聞きたいんですが。

4番は消していいんだけど、自由意見欄みたいなのを作ってもらってそこへ書いてもらう。棄権なら棄権で書いてもらうとか。それで対応したらどうかなと思いますけれども。

○網谷委員長 はい、原田委員。

○原田委員 初めから棄権を想定しておかないほうがいいので、今北地委員が言われたように自由記入欄に、もし棄権したい方がいらっしゃれば、そこに理由をお書きになればよろしいかと思います。

○網谷委員長 3択にして、1枠は自由記述とすれば。

はい。小中委員。

○小中委員 棄権といっても、棄権も記名投票なんで、ここになかなか棄権と書くのは、相当な勇気がいりますよ。

○網谷委員長 どうでしょうか。

はい、小田上委員。

○小田上委員 アンケート結果をどう使うかというところなんだと思うんですね。だからアンケート結果を踏まえてこの中で決めるという、アンケートを持ってきてそれによってその結果によって決められるんだったら、委員会主義じゃなくなっちゃいますよね。委員長がせっかく頑張って話してこられた委員会の意味がすごく薄れると思うので強制はできないと思います。なので、棄権ということもあるかもしれないですけど、それは、どういう傾向が多いとかどういう分析をされているということのために使うものであって、僕は棄権はしないですけど、棄権された方がいるんならしょうがないと。ただ棄権というのはなかなか想像しにくいんじゃないかなと思うんですが。なので、議論するための材料として扱うということであれば、記名でもありますし小中委員の言われたとおり。どなたが棄権されたかっていうのは分かるところでもあるので。公開しようっていう話踏まえて、議員としての自覚を持って出されるんじゃないかと思うので、棄権されたからどうこうっていうところは、そこまで深くやる必要はないのかなって、公開される、資料として扱うのであればですね。それ以上強制っていうのもなかなか委員会からは難しいんだろと思いますのでその程度で捉えておいて委員会としての資料として使うという考え方であれば、棄権があってもやむを得なしというか、仕方ないよねというところだと思います。

○網谷委員長 棄権をされる方はどこかに棄権をする理由付けを。棄権をすることがいるということですか。

小田上委員。

○小田上委員 個人的な意見ですけども、棄権をされるのであれば、理由は欲しいですが、棄権の場合は、棄権がいた事実は委員会の中で受け止めつつやるということで。絶対何か書いてくれっていうのもあれですし、それはもう議員の良識を持って対応していただくしかないのかなと思います。なので特段棄権の場合は記入はしてくださいとか書かないほうがいいと思います。

○網谷委員長 それでは一応3択で決めさせていただきます。

一番下のどちらとも言えないのところを、自由記述にしておきます。それで、上の3項目は上記を選択した理由をお書きくださいと、そういうふうな格好にしていきたいと思います。

それで、理由書きですよ、これが足りない方は今の状態でも5行ぐらいは書けるんで

すがね、これが足りない方は用紙を増やしても結構かと思います。

原田委員。

○原田委員 今回の枚数に制限がないのかなと思うのですが。かといって10枚も20枚も書く人はいないと思いますが。その自分が、例えばこの議員定数がまずは現状維持でいいんだという例えば理由付けの中に、資料を添付したいとそういうのはありなんですか。

資料の添付は仮にあってもいいっていうことですね。

分かりました。

○網谷委員長 その資料にももちろん、記名をしていただくということで、よろしくお願いします。

どなたの資料が分からなくなるので。その辺のところをよろしくお願いします。できればもう1枚ぐらいにさせていただけたら、読むほうも楽なんじゃないかと思います。

以上で大体の目安はついたのですが。期限ですが次回の開催日を決めたいのですがそのほうが。

できれば来週、19日の週はどんなですかね。19日の週。

○豊原副参事 18の週なんですけども、ほぼ予定が入っておりまして、空いていません。

○網谷委員長 あの週は駄目ってこと。

次の週の初め、月、火ぐらいは駄目。

○豊原副参事 次の週は、26日か27日どちらかで。

○網谷委員長 26日、朝、大丈夫ですか。

○豊原副参事 はい、大丈夫です。

○網谷委員長 26日の朝10時から。

ということは、今のアンケートの調査ですがこれの提出期限は、今日7日ですから、2週間近くあるので、7月20日水曜日まで、このアンケートよろしくお願いします。

各会派の皆さんは、もちろんメールでも皆さんにお知らせしますが、口頭でも知らせていただけたらと思います。独り会派の方もよろしくお願いします。

それでは繰り返します。今のアンケートの提出期限が、令和4年7月20日水曜日まで。次回開催日が7月26日の火曜の10時からです。次回の委員会はこのことについての協議になろうかと思うので皆さんの発言も整理しておいてください。

よろしくお願いします。

ほかに今日の宿題でございしますが、原田委員の言われた、公開の方法というか。それから小田上委員の言われた、委員会開催の全議員の方法論ですね。

公開と、全議員の招集方法論、これ我々正副委員長と議長と、ちょっと話し合ってみます。

ということで、なければこれで、終わりたいと思います。

以上で、議会改革特別委員会を閉会します。

お疲れさまでした。

13時46分 閉会